

# とむろいし 戸室石だより

土埴の石垣のように、みんなで、暖かい病院を！ 発行：金沢医療センター編集委員会

## “金沢医療センター”に新しく生まれかわって

院長 木田 寛

当院は4月1日から独立行政法人国立病院機構に移行し、病院の名称も「金沢医療センター」と改めて新たな出発をしました。皆さんのお力添えによりまして、ここまでの歩みはほぼ順調です。組織は変わりましたが、「信頼される医療の提供を基盤として、国が進める医療政策を推進し、一方で地域医療に貢献する」、この大原則に変わりはありません。



国立病院機構は、疾患分野ごとに政策医療ネットワークを組織し、国内における医療の基準作りに取り組んでおり、私たちも多くの分野で積極的に参画しています。これまでにない画期的な取り組みであり、わかり易い医療の実践に向けての基盤になります。一方、私たちは地域医療への貢献にも力を入れています。医療の現場での大きな関心事に小児医療、とくに時間外救急患児受入れの問題があります。当院では4月1日より小児科医師の二交代勤務制を導入し、救急患児受入れ体制の充実を図ってきました。

また地域の医療施設との連携をより緊密に保ち、くわえて地域に開かれた医療を提供するために、一階の売店ならびに自販機コーナーの区画を改装し、地域医療連携室を新設しました。ここには医療福祉相談室、栄養相談室も併設し、外部に向けては情報交換窓口として、また院内においてはふれあいスペース的な相談コーナーとして患者さんと身近に話ができるようにしました。さらに公開講座(話題の病気シリーズ:なっとくのいく話)やスタッフによるロビーコンサートなどを企画してきました。院内外からお集まり頂いて、診療の域を超えた触れあいの輪を広げるよい機会となっています。



私たちはさらに夢のある計画を進めてイメージを変えていきます。ご期待とご支援をお願い致します。

# 医療の質とサービス向上のための電子カルテ

## — 10月12日から稼働 —

「他科の薬と一緒に飲んでもいいですか?」といった患者さんの質問に私たちは残念ながら即答できません。各科のカルテが別々ではお互いの情報がすぐには見られないからです。全科のカルテを一冊にまとめて「1患者1カルテ」を達成しているという病院でも、ちょっと厚くなると占いデータは別冊に綴じられてしまいます。X線写真や入院カルテ、看護・リハビリ記録など、病院に長くかかるにつれて情報は膨れあがり、「昔の写真と比較する」といったことも容易ではありません。義務づけられている5年を超えて保管するのも次第に難しくなってきました。

10月12日から当院が導入する電子カルテは、情報をコンピュータにまとめて保存するものです。いつでもどこでも診療録を見たり入力したりすることができ、医師間の連携だけでなく、看護・リハビリといった多方面からも患者さんの状況が把握できます。誰がいつ入力したのか、見たかが証拠として残り、記入された文字が誰でも読めるようになります。また、検査や治療の標準的なスケジュール(クリニカルパス)を容易に組み立てることができ、退院時期の日安もわかります。さらに、手術や注射、輸血を受ける患者さんの確認や抗がん剤の安全な量を人とコンピューターが二重にチェックします。

外来では、診察時刻を30分の時間枠で予約していただくことで、大型のテレビ画面におよその待ち時間が表示されます。心電図やX線写真などは取った瞬間に画面で見ることができ、診察が終了した時点で診療費が計算され、すぐにもお支払いが可能になります。

このように、電子カルテは医療の質と患者サービスを向上させる上で紙カルテでは成し得ない大きな利点をもっています。コンピュータのもつデメリットについても私たちはじっくり考え、十分な対策を施した上で導入することを決断しました。全国に13ある国立病院機構の高度総合医療施設の中では、当院が初めて電子カルテを導入します。どうぞ、ご期待下さい。(文責、吉村)

## 診察券を 忘れないで!



※10月12日(火)より診察にあたり、本人確認のため診察券が必ず必要となります。

## 院内募集の標語が決定!

先日来、募集していました院内の標語が右の3つに決まりました。いづれも、患者サービスの向上と職員間の意思の疎通を図った優秀作品です。標語の内容を実践し、さらに質の高い医療を提供していくことが望まれます。

- 一. 患者様! あなたの笑顔がわたしの目標
- 一. 信頼は、目配り・気配り・思いやり
- 一. 自然な会釈で明るい職場

## 新医長紹介

## 泌尿器科長：越田 潔



平成16年4月に金沢大学医学部附属病院より異動して参りました。専門とする領域は泌尿器悪性腫瘍であり、とくに精巣腫瘍に関しては化学療法、手術療法などの集学的治療を多数経験して参りました。当院は大学病院にもっとも近い総合病院であり、多分に競合することもあるとは思いますが、地域に根付いた医療をその本分と心得て、病診連携を密にして地域医療に貢献したく存じます。医学的に高い水準を維持するよう研鑽を怠ることなく、また患者には病態の把握、治療の必要性の理解が十分になされるように、コミュニケーションを第一に考えたく存じます。

趣味は音楽鑑賞、楽器演奏（バイオリン、ビオラ）です。さる、6月10日の院内コンサートでデビューいたしました。再度登場できるかは、かなり疑問ですが、音楽を愛する心はひと倍あると自負しており、当院においても美しい和音の一音を担うべく精進したく存じます。よろしくお願い申し上げます。

## 新医長紹介

## 臨床検査科長：川島 篤弘



1960年5月、七尾市に生まれる。A型だが、あまりこだわらない性格。幼少時より頭1つ抜きんでいた（頭のできではなく、身長のこと）。長身をいかして御祓中学、七尾高校、金沢大学ではバレーボールで体を鍛えた。興味の範囲が広く卒後の進路に悩むが、扱う病気の広い放射線科に1年、その後病理学を専攻、現在に至る。途中ドイツに1年10ヶ月留学。研究の傍ら、音楽、旅行などドイツ生活を満喫。金沢大学分子細胞病理学（第一病理）では、癌の浸潤・転移機構の解明をテーマに研究を行った。研究と平行して、診断病理学にも携わる。2004年4月からは金沢医療センター臨床検査科に転任、常勤病理医として病理診断を行っている。地域医療の基幹病院としての役割が益々高まる中、病理はその根幹を支える部門の1つと認識し、重責を感じている。

## 新課長紹介

## 企画課長：西 孝悦



平成16年4月1日付で、当院の企画課長としてまいりました西でございます。よろしくお願いいたします。

4月1日は、当院を含めた全国の154施設が独立行政法人国立病院機構としてスタートしました。当院も金沢医療センターとしての新たな第一歩を歩み出した日であります。木田院長のもと職員一丸となってよい医療を提供できるよう努力していかなければなりません。

私たち事務職にとっても、庶務課・会計課・医事課から管理課・企画課・経営企画課に組織替えとなり、4月以降これまでは国の機関としての残務処理と新しい企業会計原則に基づく会計処理を行ってきました。ようやく国としての会計処理が終わろうとしています。機構病院としての新たな会計処理を含めた事務処理はハードルが高く新システムとの葛藤の日々がまだ続いています。事務職として、患者サービスの向上・医療安全を保ちつつ健全な病院運営が出来るよう経営の効率化を図るための道筋の一端を担えるよう頑張りたいと思います。皆様のご協力をお願いいたします。

## 地域医療連携室を新設

当院は、本年4月より独立行政法人 国立病院機構「金沢医療センター」として再スタートし、1階売店跡に新しく地域医療連携室を設置しました。医療福祉相談室と栄養相談室も設けられ総合的に患者さまから様々なご相談をお受けしやすい様になっています。(ちなみに売店は地下になりました。)個室の相談室も設けられていますので患者さまが安心して相談できる環境づくりになっていて5月6日から業務を開始しています。



### 当院・地域医療連携室の方針

当院では、地域の医療機関の先生方からのご紹介患者さまの受付と、地域の医療機関に患者さまを紹介して地域で一体となった医療を目指します。地域医療連携室では院内と院外の連携窓口としてよりよい医療連携を推進していきます。



### スタッフ体制

地域医療連携室では、医師一名と専任常駐の看護師1名、ソーシャルワーカー2名、事務職員1名の合計5名の体制でスタートしています。

### 業務の紹介

実際の業務としてご紹介患者さまの窓口業務を行なっています。あらかじめFAXなどでご紹介いただいた患者さまには受付がスムーズに行なえるように受診当日までにカルテを準備します。また予約入院が必要な患者さまには入院ベッドの準備をしてお待ちします。また受診や入院になった場合には、紹介元の先生方への経過報告が確実・迅速に行なえるようにしています。さらに患者さまを積極的に地域の医療機関の先生方に紹介をしていきたいと思ひます。

医療・福祉・療養相談では、ソーシャルワーカーや看護師が患者さまやそのご家族が安心して治療や生活が続けられるように相談に応じています。例えば介護保険の手続きや福祉サービスを受ける方法を、また転院などになる場合は医療機関や施設などの情報を提供します。これからも訪問看護ステーションや居宅介護支援事業所などの関係機関とも連携を取っていききたいと思ひます。

### 今後について

地域の医療機関の先生方々を訪問させていただき、当院へのご要望や率直なご意見を伺いたいと思ひています。お互いに顔の見えるお付き合いを広げ、地域の方々に信頼される病院として医療の提供ができるように邁進していききたいと思ひます。



## ICU稼動のお知らせ

4月1日から国立金沢病院が“独立行政法人国立病院機構・金沢医療センター”に変わりましたが、これに合わせてより質の高い医療を目指しICU(“intensive care unit”:集中治療室の略)も整備されました。今までも外科系病棟等のナース・センター隣室に回復室が設置されていましたが、術後や重症患者様へのより質の高い集中治療を提供する目的で、中3病棟にICUが設置されました。

今回設置されたICUのベッド数は6床で、専属の看護が2床に1人以上配置され、医師もICU専属の当直医を配置し、主治医、担当科の医師と連携をとりながら24時間濃厚な集中治療を行えるようにしました。対象となる入室患者様は循環器系、新生児を除く(当院には既に循環器専門のCCUと新生児専門の新生児治療室が設置されています)全ての科の重症患者、術後患者様で、これに対応できるようにしています。

稼動開始直後を除き、4月中旬からはフル活動しており、5月、6月の入室患者様の重症率は100%、98.2%で、稼働率は94.6%、98.8%と空床はほとんど無い状況です。幸い術後の患者様は皆さん早期に回復され、元気に退出されていますので回転もよく、スタッフ一同喜んでます。重症患者さんばかりで気も抜けず大変ですが、スタッフの皆さんこれからも頑張りましょう。(文責:ICU部長 桐山正人)



## ニッタ先生の神経百話

### (第6回) 眼は口よりも病を言う (脳卒中シリーズ その3)

これから暑い夏が続く今日この頃ですが、皆様、お元気でしょうか。冷たいソーメン、枝豆と冷えたビールがいいですね・・・さて、暑くなってくると、知らない間に汗をたくさんかくために体が水分不足となり、血液が濃縮されて脳や心臓の血管がつまりやすくなる場合があります。皆様、水分を多めにとってくださいね。あっ、ビールやお酒などアルコール類は飲んだ後、よけいに脱水になりますのでご注意を。今回は、危うく交通事故を起こしそうになり、冷たい汗をかいたことで病気がわかったFさんです。



車で、楽しい旅行を満喫中だったFさんご夫妻。車に乗ろうとしてドアを開けようとするのですがドアの鍵穴が見えなくて、どこに鍵を入れていいのかわからなくなりました。エンジンをかけようとしても、ハンドル横の鍵穴がわからなくてエンジンをかけられない、車を運転していてもメーターの針が見えません。怖いことに、高速道路で車を追い越そうとして右車線に出たら、追い越しをかけていた別の車がすぐ後方に近づいていて、クラクションを鳴らされ、もう少しで大惨事になるところでした。すぐに旅行先の救急病院を受診され、当科へ紹介されました。Fさんの症状をよく考えてみると、どうも右半分が見えていないためと思われ(日本人はたいてい鍵を右手に持つので、ドアの鍵穴は自分の右視野になります。日本車ではハンドルの右に鍵穴が付いていますし、追い越し車線は言うまでもなく右側です)。Fさんのように、視野の右半分が見えなくなることを右側半盲と言います(右の眼が見えないのではなく、右の眼も左の眼も右側半分が見えないのです)。この症状は眼の病気ではなく、脳が原因で起こります。急いで撮った頭部MRIで左の脳に脳梗塞が見つかり、すぐに入院していただきました。

ものが見えにくい(視力や視野の障害)、二重に見える(複視)、といった症状は眼科的な病気のこともありますが、脳が原因である場合も少なくありません。

えっ?、ニッタ先生がいい男に見えるって?、そりゃあなた、すぐに頭の検査をしましょうよ(爆)。

## 公開講座：「話題の病気シリーズ」なっとくのいく話

平成16年4月から、患者さんへのサービスの新しい企画として市民公開講座が始まっています。

これは毎月1回、様々な病気にスポットをあてて、その病気について当院の専門医がわかりやすく、詳しく説明するというものです。専門医の話は30～40分程度で、その後に質問をお受けしております。対象は、患者さんに限っていませんので、関心のある方でしたら、どなたでも気軽に参加してください。

今までに、すでに4回行っていますが、聞いていただいた方から、普段、外来などでは医師に尋ねにくいような質問も、公開講座であれば、自由に気楽に質問できるのでとても役に立ったという評価もいただいています。

8月、9月の予定を下記に紹介しますが、今後もこの公開講座は続きますので、皆さんのご出席、ご利用をお待ちいたしております。

(文責、川原)



### 「話題の病気シリーズ」なっとくのいく話

#### 第5回 脂肪の取り過ぎで大腸癌、乳癌になる？

8月18日(水) 午後3時から 当院 大会議室

担当 消化器外科医長 桐山 正人

#### 第6回 ほっておけない胸の痛み ほっておいたら？

9月16日(木) 午後3時から 当院 地域医療研修センター

担当 循環器科医長 中村 由紀夫

## 土曜透析の開始について

透析センターでは、4月から土曜日の透析業務を始めました。平均寿命の延長と医療の進歩に伴って、腎不全により血液透析を受ける患者さんは年々増加し、国内で23万人にも上ると言われています。新たに透析治療を始める方の数も年間3万人を越えて増え続けています。当院でも慢性的な透析病床不足のため、新たに透析を始める患者さんは治療が安定した段階で他の施設へお移りいただくことがほとんどでした。他の施設で透析中の方が白内障や心血管病など腎臓以外の病気で当院へ入院される場合にも、透析スケジュール調整のためにお待ちいただくなど、ご不便をおかけしてきました。血液透析はなるべく等間隔で週に2～3回の治療を続ける必要があります。したがって、土曜透析の実施により治療できる患者さんの数が増えただけでなく、無理のないスケジュールでの透析が可能になりました。また、交替で土曜日も腎臓内科医が勤務しますので、腎疾患の診療体制が強化されました。それでも、近い将来スケジュールが一杯になりそうな勢いで腎不全の患者さんは増えています。慢性腎不全は、症状が出る頃には透析を避けられないことが多い病気ですから、早めに専門医を受診し定期的に通院することが大切です。

(文責、伊勢)

パートの看護師さん募集中

・ 時 給：1,240円

・ 勤務時間：週30時間以内  
(時間 曜日は、応相談)

・ 採用日：相談に応じます

・ 待 遇：各種保険有り

・ 有給休暇：規定により有り

問合せ先：管理課給与係

(TEL：076-262-4161、内線  
2404)

# 外来担当医一覽表

平成16年7月

診療時間		【初診受付時間】 午前8時30分～11時30分					備考
		月	火	水	木	金	
内 科	初 診	吉 村	※能登/吉尾	伊 勢	木 部	森 本	糖尿病教室:毎週月曜日(14:00～15:00)
	内分泌・代謝①	能 登	長 岡	土山(奈)	能 登	長 岡	低蛋白食教室:第3水曜日
	内分泌・代謝②		能 登		土山(奈)		禁煙外来:月、水、木、金曜日(14:00～)
	腎・膠原病	伊 勢	伊 勢	木 田	吉 村	吉 村	*キャリア外来
	血 液	吉 尾		周 藤		池ヶ谷	
	呼 吸 器	木 部	丹 保	北	北	木 部	
	消 化 器 ①	島 上	松 田	足 立	*足 立	方 堂	
	消 化 器 ②	森 本	鷹 取	森 本	土山(智)	土山(智)	※隔週交代
精 神 科	坂 井	小 室	坂 井	小 室	坂 井		
小 児 科	一 診	奥 田	田 丸	奥 田	酒 詰	奥 田	予防接種:火、木曜日
	二 診	酒詰/田丸	前 馬	脇 坂	脇 坂	齊藤(剛)	
	(午 後) 特 殊	慢性疾患・発達 奥田・山田	1ヶ月検診・発達 奥 田	アレルギー・慢性疾患 奥田・田丸	乳児検診・発達 田 丸	循環器 酒 詰	午後の診察時間 月、水14:30～16:30・火、木13:30～16:00
外 科	初 診 / 再 診	桐 山	初診のみ	桐 山	初診のみ	小 島	ストーマ外来:第3水曜日
	再 診	小 島	(当番医)	小 島	(当番医)	桐 山	
	初 診 / 再 診	道 場		道 場		道 場	
	再 診	竹 川		竹 川		竹 川	
	再 診	黒 阪		黒 阪		道 輪	
	再 診	道 輪	(手術日)	酒 井	(手術日)	佐々木	
整 形 外 科	一 診	末 吉	末 吉	初診のみ	米 澤	初診のみ	スポーツ外来:第2、4木曜日(15:00～16:30)
	二 診	米 澤	米 澤	(当番医)	末 吉	(当番医)	
	三 診	納 村	納 村		納 村		
	四 診	宮 田	柳 下	(手術日)	柳 下	(手術日)	
脳 神 經 外 科	一 診	池 田	池 田	当番医	池 田	正 印	
	二 診	赤 池	岩 戸	(手術日)	正 印	赤 池	月、水、金曜日:手術日
神 經 内 科		新 田	松本(泰)	新 田	松本(泰)	新 田	火:物忘れ外来(午前)、水:頭痛外来(午前)
循 環 器 科	一 診	関 口	中 村	中 村	中 村	武 田	
	二 診	佐 伯	佐 伯	武 田	関 口		
	三 診		関 口	大 辻	佐 伯		
心 臓 血 管 外 科	一 診	佐々木	遠 藤	佐々木	遠 藤	佐々木	
	二 診		川 上		松本(康)		
	三 診	(手術日)		(手術日)	笠 島	(手術日)	月、水、金曜日:手術日
皮 膚 科	初 診 / 再 診	川 原	松 下	川 原	松 下	川 原	乾癬外来:木曜日(13:30～)
	再 診	松 下	川 原	齊藤(佑)	川 原	齊藤(佑)	
	再 診	齊藤(佑)	齊藤(佑)	松 下	齊藤(佑)	松 下	
泌 尿 器 科		越 田 (手術日)	越 田	勝 見 (手術日)	石 浦	勝 見 (手術日)	ED外来:第2、4木曜日・ストマー外来第2月曜日 月、水、金曜日:手術日
産 婦 人 科	一 診	丹 後	瀨 戸	丹 後	長 柄	丹 後	妊産婦検診:月、金曜日午後
	二 診	長 柄	谷田部	瀨 戸	谷田部	長 柄	
	三 診	谷田部	当番医	長 柄	当番医	瀨 戸	
	再 診	瀨 戸	(手術日)	谷田部	(手術日)	谷田部	火、木曜日:手術日
眼 科	一 診	瀨 川	瀨 川	瀨 川	瀨 川	瀨 川	コンタクトレンズ:月、水曜日(13:00～15:00)
	二 診	大 倉	大 倉	大 倉	大 倉	大 倉	
	三 診	当番医	当番医	当番医			火、木曜日:手術日
耳 鼻 咽 喉 科	一 診	瀧 口	瀧 口	瀧 口	瀧 口	瀧 口	聴覚、平衡:火、木曜日(15:00～16:00)
	二 診	橋 本		橋 本			月、水、金曜日:手術日
放 射 線 科	一 診	斎 藤	多 田		多 田	斎 藤	照射の依頼:毎日可
	(超 音 波)	小 林	多田・小林	大久保	多田・大久保	儀 原	
歯 科 口 腔 外 科	初 診 / 再 診	中 尾	窪 田	窪 田	初診のみ	窪 田	
	再 診	窪 田	大 原	中 尾	(当番医)	中 尾	
	再 診		(手術日)	大 原	(手術日)	大 原	火、木曜日:手術日
麻 酔 科	一 診	岸 槌	岸槌/太田		岸槌/野竹	岸槌/横山	ペインクリニック、術前診察:午前中

※ 特殊外来及び午後外来は、予約が必要です。なお、急患については、終日受付します。

◇ 時間外受付電話 262-4163 連絡責任者 当直医師 救急指定 : 有

# 大成功！第1回ロビーコンサート



過日6月10日、1階ロビーにおいて、伊勢先生・瀧口先生・越田先生によるコンサートが催されました。初めての試みでしたが、当日は大勢の患者様やそのご家族、もちろん職員の参加もあり、ロビーはまさに溢れんばかり…。特に、車椅子の患者様が、看護師やご家族に付き添われ、目を細め、時折うなづきながら楽しんでおられた光景は、とても印象深かったです。中には、日頃はおっくうでなかなか散歩したくない患者様も、この機会にと一年発起？し、積極的に参加されたという嬉しい例もありました。30分という短い時間でしたが、ロビーには、昼間の喧騒が嘘の様に穏やかな空間と時間が流れ、参加者それぞれの思いで、ひとつの非日常を味わえたのではないのでしょうか？



さて、今回の主役3人についてですが…。

ビックリしました。こんな特技をお持ちとは…。人はみかけによら…。とにかく、これまで見たことがないドクターの一面と、また、白衣で鑑賞している自分に対して奇妙さを感じながら、心地よい感覚をおぼえました。今後もロビーコンサートは開催予定ですが、次は誰の一面が見られるのか、とても楽しみです。

## 4月から当院に着任された医師の方々

所 属	氏 名	所 属	氏 名	所 属	氏 名
泌尿器科医長	越田 潔	消化器科医師	方堂 祐治	整形外科医師	宮田 岳人
臨床検査科長	川島 渥弘	循環器科医師	武田 裕子	脳神経外医師	赤池 秀一
内科医師	長岡 匡	循環器科医師	大辻 浩	心臓血管外科医師	川上 健吾
内科医師	小久保 聡	小児科医師	斉藤 剛克	心臓血管外科医師	飯野 賢治
内科医師	土山 奈央美	小児科医師	脇坂 晃子	産婦人科医師	谷田部 典之
神経内科医師	松本 泰子	小児科医師	前馬 秀昭	眼科医師	大倉 陽子
呼吸器科医師	丹保 裕一	小児科医師	奥村 亜希子	放射線科医師	俵原 真里
消化器科医師	土山 智也	外科医師	道輪 良男	麻酔科医師	太田 敏一
消化器科医師	松田 耕一郎	外科医師	佐々木 省三	皮膚科レジデント	齋藤 佑希
消化器科医師	島上 哲朗	外科医師	酒井 清祥	歯科口腔外科レジデント	大原 照比佐

編集後記；この4月に当院は独立行政法人へ移行し、名称が金沢医療センターに変わりました。それに伴って戸室石だよりの編集委員長も斎藤先生から私に交代しました。更に、5名の編集委員が交代しました。斎藤先生は、1998年の創刊から2004年3月発行の24号までを担当されて、戸室石だよりの患者さん、関係医療機関および職員に分かりやすく有意義な広報誌に育てられました。これからは新しい編集委員一同で頑張っていきますので、皆様のご意見をお待ち申し上げます。(川原)

発行元：金沢医療センター (〒920-8650 石川県金沢市下石引町1番1号)

電話：076-262-4161 (19時以降の救急受付；076-262-4163)、FAX：076-222-2758

ホームページ <http://www.hosp.go.jp/knzwhosp/> Eメール [admin@kanazawa.hosp.go.jp](mailto:admin@kanazawa.hosp.go.jp)

地域医療連携室 (専用FAX番号 076-233-3450、時間外FAX 076-222-2758)

編集委員：※石川倫子、※井村政美、川原 繁、佐々木久雄、※澤味小百合、※周藤英特、滝野 豊、千代谷孝貴、※西井佐織、増田昭二、松原弘和 (五十音順) (※は、新委員)